

第1回高知県における特別支援学校の再編振興に関する検討委員会

- 1 日 時 平成27年4月23日(木) 18:30～20:30
- 2 場 所 高知県教育センター分館
- 3 出席者 委員12名中10名出席、事務局10名
- 4 議 題
 - (1) 会長・副会長の選出
 - (2) 事務局説明及び質問・意見交換
 - ①特別支援学校の現状と県立特別支援学校再編振興(第一次)について
 - ②高知江の口養護学校の現状と課題について
 - ③インクルーシブ教育システム構築における今後の特別支援学校の在り方について
 - (3) 検討内容の提案
- 5 内 容
 - 議 題(1) 会長・副会長の選出
会長は是永委員、副会長は吉村委員に決定。
 - 議 題(2) 事務局説明及び質問・意見交換
高知県の特別支援教育の再編振興のこれまでの流れと高知県の病弱特別支援教育の現状と課題について共通認識を図るため、①～③のそれぞれについて事務局の説明後に質疑・応答を行った。
(要旨については、下記の6に記載)
 - 議 題(3) 検討内容の提案
事務局から説明
- 6 質問・意見交換の要旨
 - 田野分校・高知みかづき分校の療育手帳の取得率はどのようになっていますか。
 - 高知江の口養護学校の生徒の就職を考える時、知的障害の特別支援学校との連携も考える必要もあると思いますが、両校の進路状況はどうなっていますか。
 - 他県の先進校を見学してきましたが、システムも大切であるが、発達障害の児童生徒に対する教育対応がものすごく大切であると感じました。よって、やる気を含めて教員の専門性の向上が非常に大切であると思います。また、教員の体制や教育課程の中身も論議できればと考えています。
 - 他県の先進校の情報も知りたい。
 - 高知江の口養護学校がセンター的機能を発揮していくにあたり、発達障害やメンタル的に二次障害が発症しているような児童生徒に対する専門性を高めていくことを目指して欲しいと思います。

- 発達障害等の専門性は、北高等学校などの定時制・通信制を中心に高等学校にも必要だと思えます。
- ハード面に関してですが、現在の高知江の口養護学校は、慢性疾患の児童生徒に対応した施設・設備ですので、今後は心身症や不登校の児童生徒にも対応した施設・設備（グラウンドの整備も含む）も検討しなくてはならないと思えます。
- 学校名の変更について検討してはどうでしょうか。
- 高知江の口養護学校の分校等では、転入手続は終わっていないが、サービスのベクトル等で支援をしたり、分校の学級と一緒に授業をしたりなど、すでに支援は行っていることがあるようです。また、何日間だけでも支援が欲しいというニーズもあると思えますが、そういった病弱の対応について、累計で児童生徒数や日数のデータはないでしょうか。
- 本日出していただいた質問に関しては、次回、事務局から報告いたします。また、高知江の口養護学校の保護者・生徒・教職員のアンケート調査結果についてもご報告いたします。議題としては「今後の高知県の病弱教育に必要な教育内容について」ご意見がいただければと考えています。